



第 75 号
平成22年
2 月 発 行

自己と他者

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

どこに住んでいても、一人で生きていくことは困難です。私たちは、他の人と共に生活し働いています。職員の皆さんが、「望洋荘」という職場で孤立した状態で入所者を援助していると思うのは大間違いで、地域の方々をも含めて他者の支援を多く受けています。自分(自己)というものを自覚し成長させるには、必ず他者との関係(比較)を要します。それ以上に私たちは、他者をも必要としています。激励や、援助を受けたり、教えてくれる他者が必要なのです。また、自分自身の限界を感じた時に手助けし協力してくれる他者も必要です。他者なくしては、自分が誰であるかを知ることもしないし、自分の行動を管理することも出来ない筈です。他者は、私たちに自分が何であるかを教えてくれているのです。

職員の皆さんは、入所者と上手く関わっていますか。入所者と付き合っていくという仕事は容易な事と思っていまいませんか。入所者に関わったり話しかけたりするのも苦労していませんか。もちろん皆さんは対人接遇に関して訓練を受けてきてはいますが、こうした訓練に対する反応は人によって異なります。仕事に際して「自然である」ことがいつもベストであると

思っている人もいるし、ケアをする職業の人は誰でも訓練のマニュアルに沿ってすることが必要だと思う人もいます。自然な状態で対人に自分を表現できているかどうか。私たちは、人との関係に注意を払うことによって、いつでも相手に対しての関わり方を改善させることに柔軟でなければなりません。

私たちはチームで仕事をしています。他の人から独立してケアを提供出来る人は誰もいません。同僚との関係にしても、あらゆる種類の競争心や職業的な意見の違いが突然起こる可能性もあります。しかし私たちは多くの人達(他者)と常に上手くやっています。こうと思わなければならないし、そうでなければなりません。他者と共に生きることは常に容易とは限りません。他者との共存を困難にする要因には次のようなものがあるとされています。

- 一. コミュニケーションの欠如
- 二. 自分の言いたいことを表現することの難しさ
- 三. 偏見
- 四. 他者への誤った期待
- 五. 自信の欠如
- 六. 自己主張の不足
- 七. 仕事でのプレッシャー
- 八. 環境上の問題
- 九. 他者と接近し過ぎる状態が続くこと
- 十. プライバシーの侵害

自己を他者に伝えることは結構難しいものです。しかし、自己を他者の中に溶け込ませるのも大事です。他者と協調しながら「望洋荘」に住む人たちに皆さん自身(自己)の温かい心を提供して下さい。

『初日の出』平成二十二年元旦



今年も美しい『初日の出』を見る事が出来ました。入居者様も毎年楽しみにされ、日が昇るとともに手を合わせてお天道様に感謝の意と願い事をかけられておりました。

平成 22 年元旦

※撮影場所：望洋荘 2 階テラスより
撮 影 者：四倉ユニット永沢幸一

米寿のお祝い：中村照子様

二月七日（日）午後二時にご家族様が来荘され中村照子様のお祝いを行いました。中村照子様は大正十一年二月十日生まれで今年八十八歳を迎え、みなさんに祝福され笑顔で応えられました。

節分の豆まき

二月三日（水）午前十時より、恒例の豆まきを行いました。今年は五名の入居者様と四名の職員が、年男・年女となっており、その方々が施設全部をまわり、鬼はそと！・福はうち！と大きな声で力いっぱい豆まきをして頂きました。おかげ様で今年一年災いもなく、楽しく過ごせると思います。

ボランティア活動：ライフケア様

二月四日（木）午前十時より、ライフケアの職員さんが来荘されボランティアで二手に分かれて施設周りの草引き、花壇の手入れや清掃を行って下さいました。本当にありがとうございました。

望洋荘も雪化粧

二月二十四日（水）夜からの雪が積もり数年ぶりに雪化粧となりました。



謹賀新年

星となった師匠は、
その豪快な笑いから
ガハハの圓衆。
その師は照れ笑いから
テヘへの圓生。(亭主)

するとあんたは、泣き笑いから
トホホの圓橘ね。(女房)

うまい母に座布団三枚。(息子)

平成 22 年 元旦

謹賀新年

星となった師匠は、
その豪快な笑いから
ガハハの圓衆。
その師は照れ笑いから
テヘへの圓生。(亭主)

するとあんたは、泣き笑いから
トホホの圓橘ね。(女房)

うまい母に座布団三枚。(息子)

平成22年 元旦
三遊亭 圓橘

三遊亭 圓橘 師匠

いわき寄席にご出演された落語家さんから、毎年
嘶家さんらしい賀状をいただいています。その中か
らいくつかご紹介させていただきます。

「嘶家さんからの年賀状」其の⑥

五街道 雲助 師匠

ご要望もあり
十二年前と

同じ 寅

なまじな者に
見せぬ虎の子



賀正

平成二十二年 庚寅 元旦

ご要望もあり
十二年前と

同じ 寅

なまじな者に
見せぬ虎の子

賀正 平成二十二年 庚寅 元旦

むかし家 今松 師匠

謹賀新年



旧年中は大変ありがとうございました
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

むかし家 今松

謹賀新年

平成二十二年 庚寅 元旦

旧年中は大変ありがとうございました
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
恵まれた家庭に育ち友愛唱え
どこかお気楽人ごとで

古今亭 志ん彌 師匠



旧年中は大変お世話になりました
今年もどうぞよろしく
お願ひいたします
平成二十二年 元旦
古今亭志ん彌

古今
亭
志ん
彌

賀 寅 春

寅

旧年中は大変お世話になりました
今年もどうぞよろしくお願ひいたします
平成二十二年 元旦

平成二十二年 元旦

三遊亭 右左喜 師匠



旧年中は大変お世話になりました 本年もよろしくお願ひいたします 平成22年 元旦

新年おめでとう
ございます

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願ひいたします。

平成 22 年 元旦

新成人のごあいさつ



二十歳を迎えての抱負

四倉ユニット介護職

松本 彩花

今年成人式を迎え私の抱負は三つあります。
一つ目は、親孝行をする事です。私は小学校の時に母親を亡くし、それ以来、男手一つで育てられて来ました。ここまで育て頂いた事に、感謝の気持ちがありますが、思春期の頃には、心では分かっていたにもかかわらず素直になれずに、つい父親の言う事に反抗ばかりしていました。二十歳を期に心を入れ換え父親に接して行きたいと思っています。まずは、反抗をせず、素直に感謝出来る様にして行きたいと思っています。

二つ目は、何事も諦めないで努力するという事です。今までの私は、出来ないと思ったら努力もせずに諦めていた事が色々ありました。しかし、諦めてしまったら、これから先何も出来なくなってしまうと思います。これからは、諦める前に出来る様に努力する事で、少しずつ出来ない事を克服して行きたいと思っています。

三つ目は、何事も前向きな考え方をするという事です。母が亡くなってからの私は、何をしても結果がついて来なかったりで、「どうせ自分は...」という考え方になっていました。そのせいで表情が暗くなってしまう、福祉の仕事で忘れてはいけなない笑顔までが、心からの笑顔ではなく、うわべだけの作り笑顔になっていた時がありました。その頃、祖母に会いに行つた時に、祖母の前では心配を掛けまいと思ひから、心無い笑顔になってしまつて、祖母から「大丈夫か？無理してないか？」と言われました。祖母には私の気持ちが見透かされていたのだと思ひました。心配を掛けまいと思ひながら、反対に心配を掛けていたのです。そんな祖母は、自分がつらい時でも私が行くといつも心からの笑顔で迎えてくれました。亡くなった時も棺の中で穏やかな笑顔で天国旅立たれました。最後の最後まで笑顔だった祖母は、きっと、前向きに生きて、後悔の無い人生だったのだと思います。そんな祖母の様に、前向きに生きて、最期まで後悔をしない人生を送って行きたいと思っています。この三つが私の二十歳の抱負です。

三月の行事予定

三月三日(水) 午前・午後の二回
「ひなまつりおやつバイキング」施設全体

【三月のお誕生会予定】

三月四日(火)	豊間 鈴木トキ子様	(八十八歳)誕生会
三月五日(水)	薄磯 安田	久子様 (九十一歳)誕生会
三月七日(金)	豊間 阿部	たか様 (九十四歳)誕生会
三月七日(金)	勿来 本多	京代様 (八十六歳)誕生会
三月八日(土)	永崎 箱崎イセヨ様	(九十七歳)誕生会
三月十二日(水)	四倉 佐久間	千代様 (八十五歳)誕生会
三月十三日(木)	永崎 渡邊	仲蔵様 (九十五歳)誕生会
三月十五日(土)	豊間 鈴木	セン様 (九十六歳)誕生会
三月二十日(木)	勿来 熊田	昭八様 (八十三歳)誕生会
三月二十日(木)	勿来 猪狩	ハルヨ様 (九十歳)誕生会
三月二十日(木)	勿来 門井	民夫様 (八十二歳)誕生会
三月二十四日(月)	勿来 高木	ウン様 (八十八歳)誕生会
三月二十八日(金)	豊間 中野	サワ子様 (八十六歳)誕生会
三月三十日(日)	薄磯 政井	一郎様 (八十歳)誕生会

編集後記

『望洋 荘』便り
平成二十二年二月二十八日発行
発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255
社会福祉法人 りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘